

# ドイチェ・グローバル好配当株式ファンド(毎月分配型)

追加型投信／内外／株式

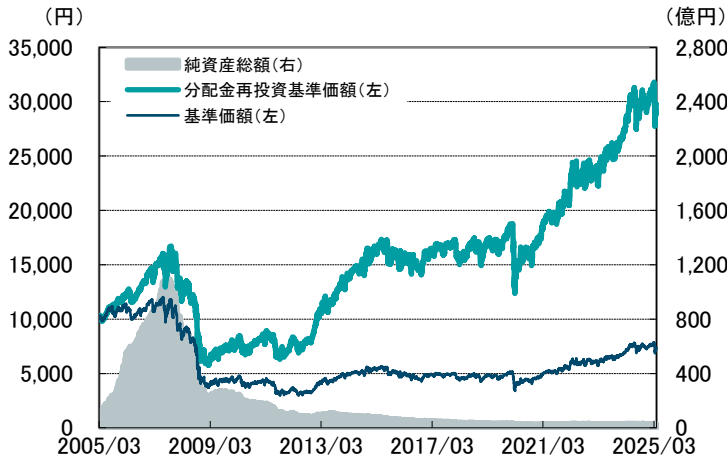
月次報告書



基準日： 2025年4月30日

設定・運用： ドイチェ・アセット・マネジメント株式会社

## 設定来の基準価額の推移



※分配金再投資基準価額は、分配金(税引前)を再投資したもとして計算しております。ただし、設定来の分配金が0円のファンドにつきましては基準価額と重なって表示されております。  
 ※基準価額の推移は、信託報酬控除後の価額を表示しております。

## 運用実績

基準価額	7,369円	
(最高値)	12,028円	2007年7月13日
(最低値)	2,966円	2012年6月4日
純資産総額	29億円	

	1ヶ月	3ヶ月	6ヶ月	1年	3年	設定来
騰落率	-5.05%	-3.21%	-3.06%	0.57%	29.21%	197.94%

※騰落率は、分配金(税引前)を再投資したもとして計算しております。

### 【基準価額変動の要因分解】

設定来		月間	
対象期間：2005年3月28日～2025年4月30日		対象期間：2025年4月1日～2025年4月30日	
基準価額の変動金額	-2,631円	基準価額の変動金額	-403円
株式部分	6,267円	株式部分	-192円
為替部分	1,448円	為替部分	-192円
分配金	-8,650円	分配金	-10円
信託報酬等その他の部分	-1,697円	信託報酬等その他の部分	-9円

※金額は、対象期間における基準価額の変動を表したものです。  
 ※金額は、円未満を四捨五入しております。

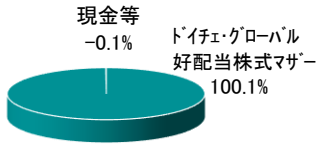
### 【税引前分配金実績(1万口あたり)】

第237期	第238期	第239期	第240期	第241期	分配金累計
10円	10円	10円	10円	10円	8,650円

※運用状況によっては、分配金額が変わる場合、あるいは分配金が支払われない場合があります。

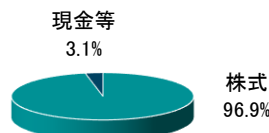
## ポートフォリオの状況

### ベビーファンド構成比率



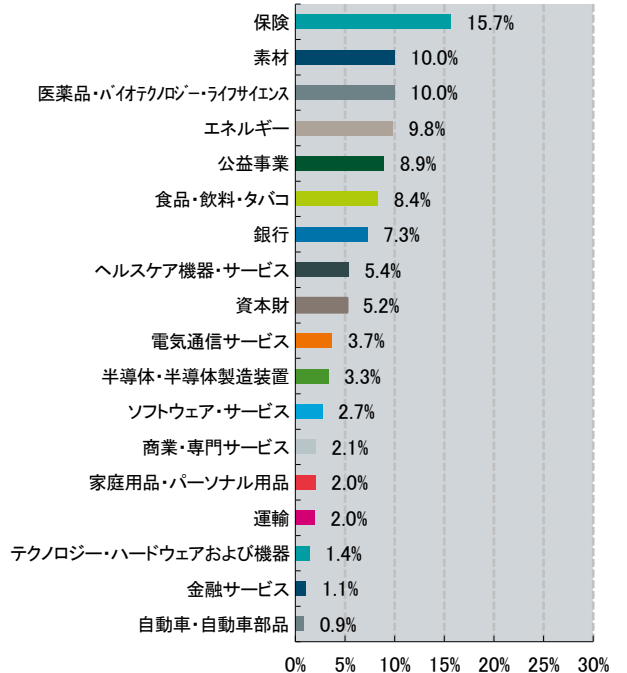
※比率はベビーファンドの純資産総額を100%として計算しております。  
 ※「現金等」のマイナス値：基準日において未払金等が現金よりも多い場合を示しております。

### マザーファンド構成比率



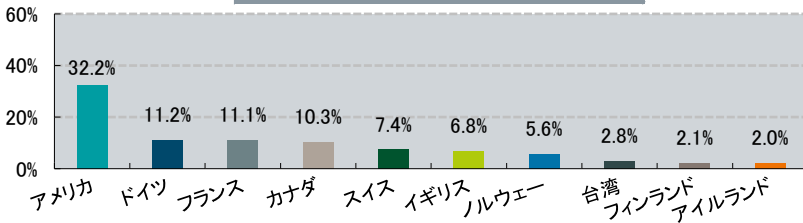
・平均配当利回り 3.29%  
 ※比率はマザーファンドの純資産総額を100%として計算しております。

### 業種別構成比率

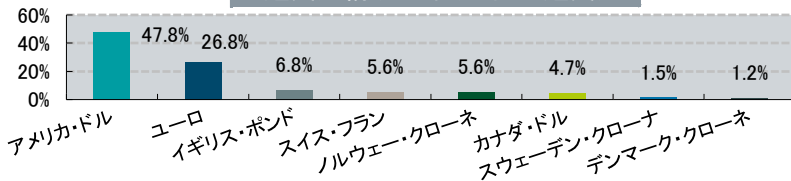


※投資国別・通貨別・業種別の各構成比率は、マザーファンドの株式評価総額に対する比率です。  
 ※投資国は、本社の登記を基準としており、実際の営業拠点とは異なる場合があります。  
 ※業種はMSCI/S&P GICS(世界産業分類基準)によるものです。

### 投資国別構成比率(上位10ヶ国)



### 通貨別構成比率(上位10通貨)



# ドイチェ・グローバル好配当株式ファンド(毎月分配型)

追加型投信／内外／株式

月次報告書



基準日： 2025年4月30日

設定・運用：ドイチェ・アセット・マネジメント株式会社

## 組入れ上位10銘柄

	銘柄名称	業種	国	比率	配当 利回り	会社概要
1	アグニコ・イーグル・マイ ンズ	素材	カナダ	4.44%	1.37%	アグニコ・イーグル・マインズ(Agnico Eagle Mines Limited)は金生産会社。主にケベック北西部、メキシコ北部、フィンランド北部、ヌナブトで事業を展開。カナダ、欧州、中南米、米国で探鉱事業も手掛ける。主に坑内作業による金鉱の探鉱、開発、拡張に注力。
2	シェル	エネルギー	イギリス	3.11%	4.69%	シェル(Shell PLC)は石油会社。石油製品の精製に従事。燃料、化学品、および潤滑油を製造・輸入するほか、ガソリンスタンド網を運営する。世界各地で事業を展開。
3	台湾積体回路製造[TSMC/台湾セミコンダク ター](ADR)	半導体・半導 体製造装置	台湾	2.79%	1.67%	台湾積体回路製造 [TSMC/台湾セミコンダクター](Taiwan Semiconductor Manufacturing Company, Ltd.)は半導体メーカー。ウエハー製造、プロービング、組み立て、検査のほか、マスクの製造、設計サービスを提供する。同社の集積回路(IC)はコンピューター、通信機器、消費者向け電子製品、自動車、工業機器の各産業で使用される。
4	アクサ	保険	フランス	2.66%	5.20%	アクサ(AXA)は保険会社。生命保険や損害保険、貯蓄、年金などの商品のほか、財務管理・資産運用サービスも提供する。世界各地で事業を展開。
5	ハノーバー再保険	保険	ドイツ	2.62%	2.50%	ハノーバー再保険(Hannover Rueck SE)は再保険サービス会社。生命保険、健康保険、傷害保険、損害保険、ハイリスク特化型再保険などの保険商品を提供する。
6	ネスレ	食品・飲料・ タバコ	スイス	2.57%	3.51%	ネスレ(Nestle S.A.)は多国籍食品加工会社。広範囲にわたる食品の製造・販売を手掛ける。製品は、ミルク、チョコレート、菓子類、飲料水、コーヒー、クリーマー、調味料、ペットフードなど。
7	トタルエナジーズ	エネルギー	フランス	2.56%	6.15%	トタルエナジーズ(TotalEnergies SE)はエネルギー会社。原油、天然ガス、および低炭素電力を生産、輸送、供給するほか、石油化学製品を精製する。世界各地でガソリンスタンドを保有、運営。
8	DNBバンク	銀行	ノルウェー	2.49%	6.21%	DNBバンク(DNB Bank ASA)は銀行。口座、カード、ローン、保険、送金、キャッシュマネジメント、外国為替、証券仲介、およびその他関連サービスを提供する。世界各地で事業を展開。
9	アッヴィ	医薬品・バイオ テクノロジー・ライ フサイエンス	アメリカ	2.39%	3.39%	アッヴィ(AbbVie Inc.)は、リサーチを基盤とするバイオ医薬品メーカー。免疫学、腫瘍学、審美学、神経科学、眼科の分野における疾患を対象とした医薬品や治療法を発見・開発する。世界各地で事業を展開。
10	WECエネルギー・グループ	公益事業	アメリカ	2.34%	3.27%	WECエネルギー・グループ(WEC Energy Group, Inc.)は公益事業会社。配電、天然ガス運送、送電線、発電所を管理する。ウィスコンシン、イリノイ、ミシガン、ミネソタの各州で事業を展開。
組入れ上位10銘柄の合計				27.97%		組入れ銘柄数：63

※出所：ブルームバーグ等

※業種はMSCI/S&P GICS(世界産業分類基準)によるものです。

※比率は、マザーファンドの株式評価総額に対する比率です。

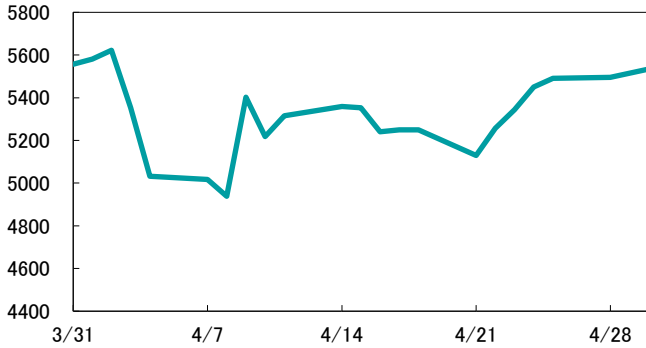
※新興国の株式及び預託証券等については米ドル等で取引される場合があり、通貨区分はその取引通貨となります。なお価格には、対象となる新興国通貨とその取引通貨との為替が反映されています。

### 投資環境

#### 過去1ヶ月の株式市場動向

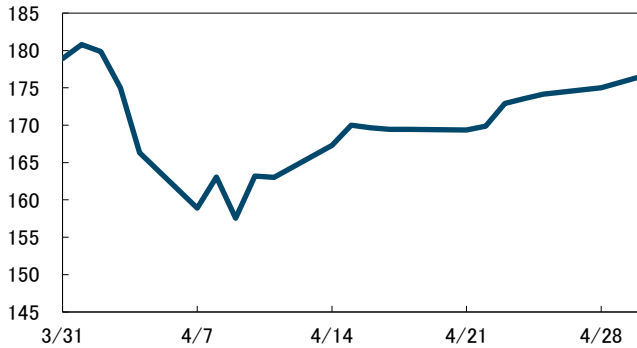
#### 株式市場コメント

#### 北米株式



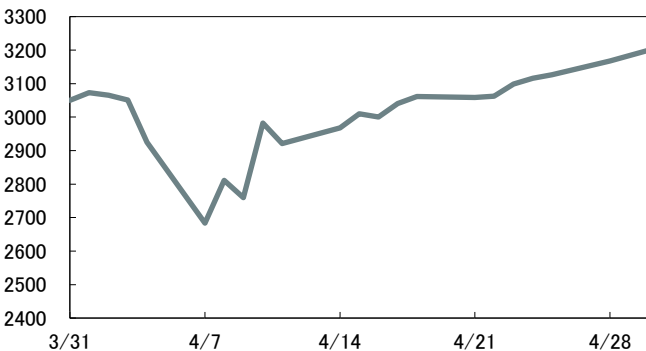
出所:ブルームバーグ、MSCI北米株価指数

#### 欧州株式



出所:ブルームバーグ、MSCI欧州株価指数

#### アジア・パシフィック株式



出所:ブルームバーグ、MSCIアジア環太平洋株価指数

#### 1) 北米

北米株式市場で株価は小幅に下落しました。引き続きトランプ米政権の関税政策が市場の主な関心事となるなか、月初にトランプ米大統領から市場の想定よりも厳しい相互関税が発表され、貿易戦争激化による経済成長鈍化への懸念が高まり、株価は大きく下落しました。月半ばには、相互関税の上乗せ部分の一時停止等が好感されて一時的に反発しましたが、景気後退懸念が残るなか上値の重い展開となりました。月後半には米中貿易戦争を巡る緊張緩和の動きが見られたことや企業の好決算等が相場を押し上げました。

#### 2) 欧州

欧州株式市場で株価は全体では下落しましたが、国毎ではまちまちでした。月初にトランプ米大統領から市場の想定よりも厳しい相互関税が発表され、貿易戦争が激化すると懸念が高まり株価は大きく下落しました。その後、相互関税の上乗せ部分の一時停止や、一部製品の関税免除が示唆されたこと等を受けて貿易摩擦の緩和期待が高まったことや、好調な企業業績等が株価を大きく押し上げましたが、前月末比ではマイナスで取引を終えました。ただし、ドイツ株式市場では、個別銘柄の好材料等が相場を支え、前月末比で株価は上昇しました。

#### 3) アジア・パシフィック

アジア株式市場は国毎にまちまちな展開となりました。豪州市場では、トランプ米政権の相互関税発表を受けて世界的に貿易戦争が激化すると懸念が高まったことを受けて軟調に推移する場面もありましたが、大幅な利下げ観測等が支えとなり株価は上昇しました。香港市場では、米中の関税合戦等を受けて株価が大きく下落し、その後貿易戦争の緩和期待が広がると反発しましたが、前月末比ではマイナスで月の取引を終えました。

#### <上記指数について>

MSCI北米株価指数、MSCI欧州株価指数、MSCIアジア環太平洋株価指数はMSCIインク(以下「MSCI」といいます。)が算出する指数です。MSCI北米株価指数、MSCI欧州株価指数、MSCIアジア環太平洋株価指数に関する著作権、知的財産権その他一切の権利はMSCIに帰属します。また、MSCIは同指数の内容を変更する権利及び公表を停止する権利を有しています。

# ドイチェ・グローバル好配当株式ファンド(毎月分配型)

追加型投信／内外／株式

月次報告書



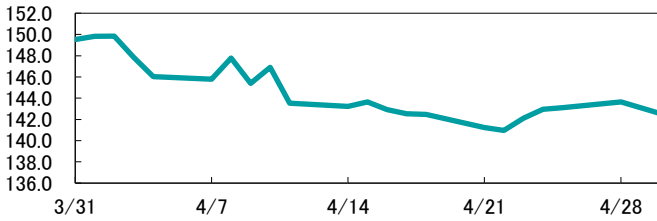
基準日： 2025年4月30日

設定・運用： ドイチェ・アセット・マネジメント株式会社

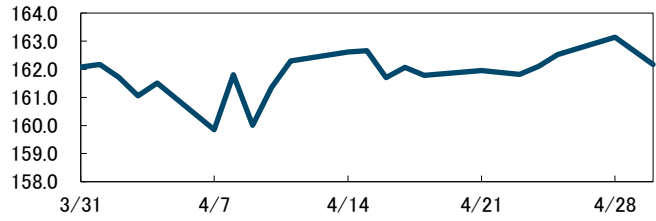
## 投資環境

### 過去1ヶ月の為替市場動向

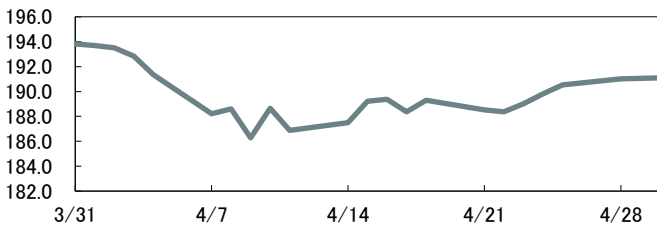
ドル円レート



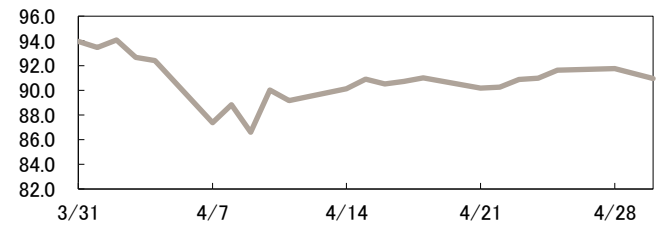
ユーロ円レート



英ポンド円レート



豪ドル円レート



出所：ブルームバーグ

為替市場では、対米ドルでは円高が進み、対ユーロでは円は横ばいでした。

## 運用状況

当月の基準価額は5.05%下落しました。金価格の上昇を背景に業績拡大期待が高まったカナダの金生産会社の保有等がプラスに寄与しました。一方で、トランプ米政権による相互関税の発表を受けて原油価格が下落し、それに伴う業績悪化懸念が高まった油田サービス・設備企業や、決算が市場予想を下回り、通期の利益予想も下方修正したことが嫌気された米国の管理医療会社の保有等がマイナスに働きました。当ファンドは、基準価額水準等を勘案して当月は10円の分配を行いました。

## 今後の運用方針

米連邦準備制度理事会(FRB)は、トランプ政権の高関税政策が彼らの使命である物価の安定と雇用の最大化の両立を妨げるリスクを強調しています。足元ではデータを注意深く見守りつつ、様子見のスタンスを維持していますが、高関税政策が景気の悪化を招き失業率が上昇傾向に転じれば、利下げに踏み切るとみえています。株式相場は関税政策の動向に大きく揺さぶられていますが、引き続き米国と各国の貿易交渉の行方や、経済への影響等を巡り神経質な展開が続くと思われます。運用にあたっては、引き続きリスクを注視しつつ、良好な業績が見込まれ、かつ相対的に高い配当利回りが期待される銘柄に注目していく方針です。

※将来の市場環境の変動等により、上記運用方針が変更される場合があります。

# ドイチェ・グローバル好配当株式ファンド(毎月分配型)

追加型投信／内外／株式

月次報告書



設定・運用：ドイチェ・アセット・マネジメント株式会社

## ファンドの特色

当ファンドは、信託財産の成長を目標に積極的な運用を行うことを基本とします。

**1** 世界各国の株式を実質的な主要投資対象とし、安定的な配当収益の確保を追求するとともに、中長期的な値上がり益の獲得を目指します。

- 配当利回りに注目し、世界各国の株式に分散投資を行います。
- 企業のファンダメンタルズ、事業の継続性等を中心とした定性判断を加え、投資銘柄を選択します。

**2** 毎月決算を行い、収益分配を行います。

- 毎月21日(当該日が休業日の場合は翌営業日)に決算を行い、収益分配方針に基づき収益分配を行います。
  - 配当収益を中心とし、毎月安定的に分配を行うことを基本とします。
  - 3月及び9月の決算時には、配当収益に売買益(評価益を含みます。)を加えた額を分配対象収益として分配を行う場合があります。
  - 分配対象額が少額の場合は分配を行わないこともあります。
- (注1)「原則として安定分配を行う」方針としていますが、これは、運用による収益が安定したものになることや基準価額が安定的に推移すること等を示唆するものではありません。また、基準価額の水準、運用の状況等によっては安定分配とならない場合があることにご留意下さい。
- (注2)将来の分配金の支払い及びその金額について保証するものではありません。

**3** 実質外貨建資産については、原則として為替ヘッジを行いません。

**4** ファミリーファンド方式<sup>※</sup>で運用を行います。

- ※「ファミリーファンド方式」とは、運用及び管理面の合理化・効率化をはかるため、投資者から集めた資金をまとめてベビーファンドとし、その資金を主としてマザーファンドに投資して実質的な運用を行う仕組みです。

(注)市況動向及び資金動向等によっては、上記のような運用ができない場合があります。

## 投資リスク

### 基準価額の変動要因

当ファンドは、値動きのある有価証券等に投資しますので、基準価額は変動します。したがって、投資元金が保証されているものではなく、これを割込むことがあります。当ファンドに生じた利益及び損失は、すべて投資者に帰属します。基準価額の変動要因は、以下に限定されません。なお、当ファンドは預貯金と異なります。

#### ①株価変動リスク

株価は、政治経済情勢、発行企業の業績、市場の需給等を反映して変動し、短期的または長期的に大きく下落することがあります。これによりファンドの基準価額が影響を受け損失を被ることがあります。

#### ②為替変動リスク

外貨建資産の価格は、為替レートの変動の影響を受けます。外貨建資産の価格は、通常、為替レートが円安になれば上昇しますが、円高になれば下落します。したがって、為替レートが円高になれば外貨建資産の価格が下落し、ファンドの基準価額が影響を受け損失を被ることがあります。

#### ③カントリーリスク

投資対象国の政治、経済情勢の変化等により、市場が混乱した場合や、組入資産の取引に関わる法制度の変更が行われた場合等には、有価証券等の価格が変動したり、投資方針に沿った運用が困難な場合があります。これらにより、ファンドの基準価額が影響を受け損失を被ることがあります。なお、新興国への投資については、一般的に先進諸国への投資に比べカントリーリスクが高くなります。

#### ④信用リスク

株価は、発行者の信用状況等の悪化により下落することがあり、これによりファンドの基準価額が影響を受け損失を被ることがあります。なお、新興国の株式は、先進諸国の株式に比べ、相対的に信用リスクが高くなると考えられます。

#### ⑤流動性リスク

急激かつ多量の売買により市場が大きな影響を受けた場合、または市場を取り巻く外部環境に急激な変化があり、市場規模の縮小や市場の混乱が生じた場合等には、機動的に有価証券等を売買できないことがあります。このような場合には、当該有価証券等の価格の下落により、ファンドの基準価額が影響を受け損失を被ることがあります。

### その他の留意点

・マザーファンドを投資対象とする他のベビーファンドの購入申込みまたは換金申込み等により、当該マザーファンドにおいて売買が生じた場合等には、当ファンドの基準価額が影響を受けることがあります。

・当ファンドは、大量の換金が発生し短期間で換金代金を手当てする必要が生じた場合や主たる取引市場において市場環境が急変した場合等に、一時的に組入資産の流動性が低下し、市場実勢から期待できる価格で取引できないリスク、取引量が限られてしまうリスクがあります。これにより、基準価額にマイナスの影響を及ぼす可能性や、換金申込みの受け付けが中止となる可能性、換金代金の支払いが遅延する可能性があります。

・当ファンドのお取引に関しては、金融商品取引法第37条の6の規定(いわゆるクーリング・オフ)の適用はありません。



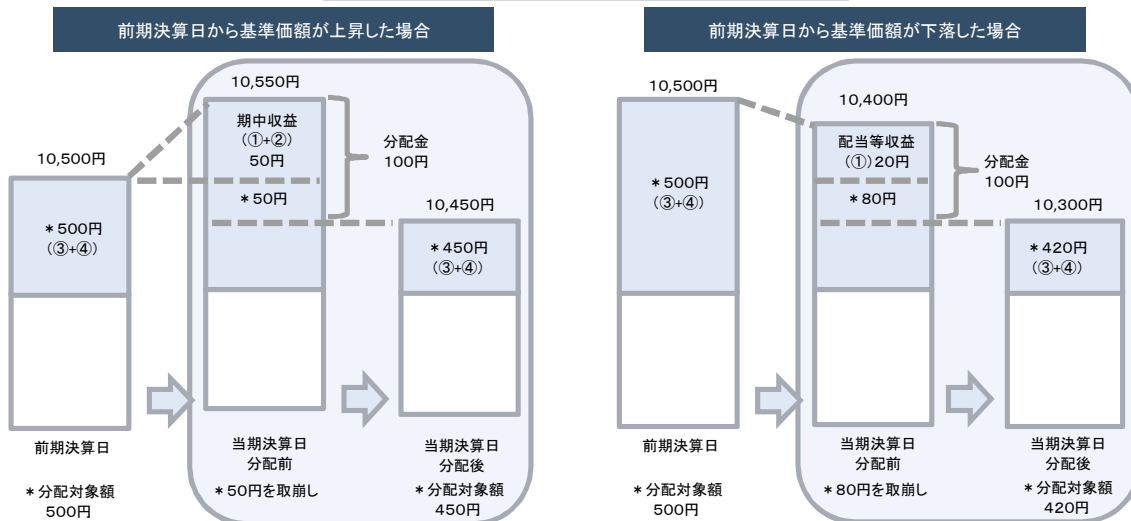
### 収益分配金に関する留意事項

●分配金は、預貯金の利息とは異なり、投資信託の純資産から支払われますので、分配金が支払われると、その金額相当分、基準価額は下がります。



●分配金は、計算期間中に発生した収益(経費控除後の配当等収益及び評価益を含む売買益)を超えて支払われる場合があります。その場合、当期決算日の基準価額は前期決算日と比べて下落することになります。また、分配金の水準は、必ずしも計算期間におけるファンドの収益率を示すものではありません。

#### 計算期間中に発生した収益を超えて支払われる場合

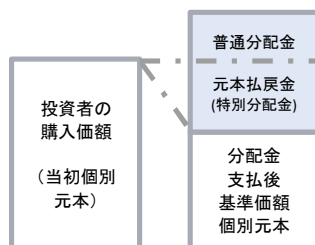


(注) 分配対象額は、①経費控除後の配当等収益及び②経費控除後の評価益を含む売買益並びに③分配準備積立金及び④収益調整金です。分配金は、分配方針に基づき、分配対象額から支払われます。

※上記はイメージであり、実際の分配金額や基準価額を示唆するものではありませんのでご留意下さい。

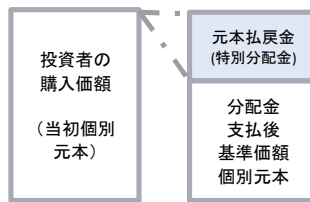
●投資者のファンドの購入価額によっては、分配金の一部または全部が、実質的には元本の一部払戻しに相当する場合があります。ファンド購入後の運用状況により、分配金額より基準価額の値上がりが小さかった場合も同様です。

#### 分配金の一部が元本の一部払戻しに相当する場合



※元本払戻金(特別分配金)は実質的に元本の一部払戻しとみなされ、その金額だけ個別元本が減少します。また、元本払戻金(特別分配金)部分は非課税扱いとなります。

#### 分配金の全部が元本の一部払戻しに相当する場合



普通分配金: 個別元本(投資者のファンドの購入価額)を上回る部分からの分配金です。

元本払戻金(特別分配金): 個別元本を下回る部分からの分配金です。分配後の投資者の個別元本は、元本払戻金(特別分配金)の額だけ減少します。

(注) 普通分配金に対する課税については、「投資信託説明書(交付目論見書)」の「手続・手数料等」の「ファンドの費用・税金」をご参照下さい。

# ドイチェ・グローバル好配当株式ファンド(毎月分配型)

追加型投信／内外／株式

月次報告書



設定・運用：ドイチェ・アセット・マネジメント株式会社

## お申込みメモ

申込締切時間	原則として、販売会社の営業日の午後3時30分までに購入申込み・換金申込みが行われ、販売会社所定の事務手続きが完了したものを当日の受付分として取扱います。 ※販売会社によって異なる場合があります。詳しくは販売会社にお問合せ下さい。
購入価額	購入申込受付日の翌営業日の基準価額
購入単位	販売会社が定める単位とします。詳しくは、販売会社にお問合せ下さい。
信託期間／ 繰上償還	信託設定日(2005年3月28日)から無期限 ただし、残存口数が10億口を下回ることとなる場合、受益者のために有利であると委託会社が認める場合またはやむを得ない事情が発生した場合には、信託を終了させていただくことがあります。
決算日	原則として毎月21日(休業日の場合は翌営業日)とします。
収益分配	年12回の毎決算時に、信託約款に定める収益分配方針に基づいて行います。ただし、分配対象額が少額の場合には、分配を行わないことがあります。 (注)将来の分配金の支払い及びその金額について保証するものではありません。
換金価額	換金申込受付日の翌営業日の基準価額から信託財産留保額を差し引いた価額
換金単位	販売会社が定める単位とします。詳しくは、販売会社にお問合せ下さい。
換金代金	原則として、換金申込受付日から起算して5営業日目から販売会社においてお支払いします。
課税関係	課税上は株式投資信託として取扱われます。 公募株式投資信託は税法上、一定の要件を満たした場合に少額投資非課税制度(NISA(ニーサ))の適用対象となります。 当ファンドは、NISAの対象ではありません。 配当控除、益金不算入制度の適用はありません。 ※上記は2025年1月末現在のもので、税法が改正された場合等には変更される場合があります。

## ファンドの費用

時期	項目	費用
投資者が直接的に負担する費用		
購入時	購入時手数料	購入申込受付日の翌営業日の基準価額に <b>3.3%(税抜3.0%)</b> を上限として販売会社が定める率を乗じて得た額
換金時	信託財産留保額	換金申込受付日の翌営業日の基準価額に <b>0.3%</b> を乗じて得た額
投資者が信託財産で間接的に負担する費用		
毎日	運用管理費用(信託報酬)	信託財産の純資産総額に対して年率 <b>1.43%(税抜1.3%)</b>
	その他の費用・手数料	当ファンドにおいて、信託事務の処理等に要する諸費用(ファンドの監査に係る監査法人への報酬、法律・税務顧問への報酬、目論見書・運用報告書等の作成・印刷等に係る費用等を含みます。以下同じ。)、組入資産の売買委託手数料、資産を外国で保管する場合の費用、租税等がかかります。これらは原則として信託財産が負担します。ただし、これらの費用のうち信託事務の処理等に要する諸費用の信託財産での負担は、その純資産総額に対して年率 <b>0.10%を上限</b> とします。「その他の費用・手数料」は、運用状況等により変動するものであり、一部を除き事前に利率、上限額等を表示することができません。

※ 収益分配金を再投資する際には購入時手数料はかかりません。

※ 「税」とは、消費税及び地方消費税に相当する金額のことを指します。

※ 投資者の皆様が負担する費用の合計額については、ファンドを保有される期間等に応じて異なりますので、表示することができません。

## 委託会社、その他の関係法人

- 販売会社 当ファンドの募集の取扱い等を行います。投資信託説明書(交付目論見書)の提供は、販売会社にて行います。販売会社につきましては、委託会社にお問合せ下さい。
- 委託会社 ドイチェ・アセット・マネジメント株式会社  
金融商品取引業者 関東財務局長(金商)第359号  
加入協会 日本証券業協会 一般社団法人投資信託協会  
一般社団法人日本投資顧問業協会 一般社団法人第二種金融商品取引業協会  
信託財産の運用指図等を行います。  
ホームページアドレス <https://funds.dws.com/ja-jp/>
- 受託会社 三井住友信託銀行株式会社  
信託財産の保管・管理等を行います。

## <ご注意事項>

投資信託のお申込みに関しては、下記の点をご理解いただき、投資の判断はおお客様ご自身の責任においてなさいませうお願い申し上げます。

■当資料はドイチェ・アセット・マネジメント株式会社が作成した資料です。■当資料記載の情報は、作成時点のものであり、市場の環境やその他の状況によって予告なく変更することがあります。データ等参考情報は信頼できる情報をもとに作成しておりますが、正確性・完全性について当社が責任を負うものではありません。また、使用しているデータについては特段の注記の無い限り、費用・税金等を考慮していません。■当資料記載の内容は将来の運用成果等を保証もしくは示唆するものではありません。■投資信託は、株式、公社債などの値動きのある証券(外貨建資産には為替変動リスクもあります。)に投資しますので、基準価額は変動します。したがって、元本が保証されるものではありません。投資信託の運用による損益は、すべて投資信託をご購入のお客様に帰属します。■投資信託は、金融機関の預貯金と異なり、元本および利息の保証はありません。■投資信託は、預金または保険契約ではないため、預金保険および保険契約者保護機構の保護の対象にはなりません。■登録金融機関を通じてご購入いただいた投資信託は、投資者保護基金の対象とはなりません。■ご購入に際しては、販売会社より最新の投資信託説明書(交付目論見書)をお渡しますので、必ず内容をご確認の上、ご自身で判断して下さい。

# ドイチェ・グローバル好配当株式ファンド(毎月分配型)

追加型投信／内外／株式

月次報告書



設定・運用：ドイチェ・アセット・マネジメント株式会社

当ファンドの販売会社は以下の通りです。

(五十音順)

金融商品取引業者名	登録金融機関	登録番号	加入協会				備考
			日本証券業協会	一般社団法人日本投資顧問業協会	一般社団法人金融先物取引業協会	一般社団法人第二種金融商品取引業協会	
株式会社イオン銀行	登録金融機関	関東財務局長(登金)第633号	○				委託金融商品取引業者：マネックス証券株式会社
SMBC日興証券株式会社	金融商品取引業者	関東財務局長(金商)第2251号	○	○	○	○	
株式会社SBI証券	金融商品取引業者	関東財務局長(金商)第44号	○		○	○	
株式会社SBI新生銀行	登録金融機関	関東財務局長(登金)第10号	○		○		委託金融商品取引業者：株式会社SBI証券 マネックス証券株式会社
岡三証券株式会社	金融商品取引業者	関東財務局長(金商)第53号	○	○	○	○	
岡三にいがた証券株式会社	金融商品取引業者	関東財務局長(金商)第169号	○				
香川証券株式会社	金融商品取引業者	四国財務局長(金商)第3号	○				
岐阜信用金庫	登録金融機関	東海財務局長(登金)第35号	○				*
株式会社 常陽銀行	登録金融機関	関東財務局長(登金)第45号	○		○		
PayPay銀行株式会社	登録金融機関	関東財務局長(登金)第624号	○		○		
松井証券株式会社	金融商品取引業者	関東財務局長(金商)第164号	○		○		
マネックス証券株式会社	金融商品取引業者	関東財務局長(金商)第165号	○	○	○	○	
三菱UFJ eスマート証券株式会社	金融商品取引業者	関東財務局長(金商)第61号	○	○	○	○	
楽天証券株式会社	金融商品取引業者	関東財務局長(金商)第195号	○	○	○	○	

※備考欄に\*の表示がある場合、購入申込の取扱いを中止しております。詳しくは販売会社にお問い合わせ下さい。